

知り合う

今日の世界では、常に誰かが、キリスト教の信仰に対する反感を経験していますか?どのような経験なのですか？（参照：ヨハネ 15:17-18）

聖句 – コロサイ人への手紙 2:11-23 (聖書協会共同訳)

11 あなたがたはキリストにあって、手によらない割礼を受けました。それは肉の体を脱ぎ捨てること、すなわち、キリストの割礼です。12 あなたがたは、洗礼(バプテスマ)によってキリストと共に葬られ、キリストを死者の中から復活させた神の力を信じて、キリストと共に復活させられたのです。13 あなたがたは過ちによって、また肉に割礼を受けずに死んでいた者でした。神は、そのようなあなたがたをキリストと共に生かし、私たちのすべての過ちを赦してくださいました。14 数々の規則によって私たちを訴えて不利に陥れていた借用書を破棄し、これを十字架に釘付けにして取り除いてくださったのです。15 こうして、神はもろもろの支配と権威の武装を解除し、キリストにあって彼らを勝利の行進に従えて、公然とさらしものになさいました。16 だから、あなたがたは食べ物や飲み物のことで、あるいは祭りや新月や安息日のことで、誰にも批評されてはなりません。17 これらは、来るべきものの影であり、実体はキリストにあります。18 あなたがたは、自分を卑下したり、天使を礼拝したりする者から、不利な判断を下されてはなりません。彼らは、幻で見たことを頼りとし、肉の思いによっていたずらに誇っているだけで、19 頭であるキリストにしっかりと付くことをしません。この頭が基になり、体全体は節と節、筋と筋によって支えられ、結び合わされ、神に育てられて成長してゆくのです。20 あなたがたは、キリストと共に死んでこの世のもろもろの霊力から離れたのなら、なぜ、この世に生きている者のように、21 「手を付けるな、味わうな、触れるな」などという規定に縛られているのですか。22 これらはみな、使えばなくなるもの、人間の戒めや教えに基づくものです。23 このようなことは、独り善がりの礼拝、自己卑下、体の苦行を伴うもので、知恵あることのように見えますが、実は何の価値もなく、肉を満足させるだけなのです。(聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会 Japan Bible Society, Tokyo 2018)

学び

1. パウロはコロサイ人への手紙の中で、ユダヤ人の儀式である割礼（と洗礼）について話しています。なぜ割礼について取り上げているのですか。(11節、ガラテヤ3:7, 13-14, 5:2-3, 6)

   鍵となる概念： アブラハム契約、旧約と新約の変化、福音の擁護、一致

2. 14節について、何が「十字架に釘付け」にされたのですか。なぜそれが重要なのでしょうか？

   鍵となる概念： クリスチャン生活、贖罪、罪に対する勝利、確信、罪悪感

3. パウロは16節から、批判から守られるためにどのような指示をしていますか？それはどのような効果がありますか。2つ挙げてください。

   鍵となる概念： キリスト者の自由、識別、キリストの権威、信頼性

分かち合い１：信仰のみによって救われることは、あなたにどのような安息を与えてくれますか？あなたは、主イエスとの歩みの中で、主イエスにある安息をどのように経験しましたか？

分かち合い２：あなたが信仰のみによって救われたという確信を持つことは、どのように他のクリスチャンを愛するよう駆り立てますか？そのことによって、どのように主を礼拝することになりますか？

成長

今日学んだことを踏まえて、分かち合い/祈りの中で：

- ❖ 何を告白できますか？
- ❖ 神のどんなところを心から賛美できますか？
- ❖ 神に感謝できることは何ですか？
- ❖ 主により仕えるにはどうしたらよいでしょうか？